

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人粹友会	代表者	川島 優幸	法人・事業所の特徴	事業所自己評価には常勤スタッフの意見が反映されている。事業所の環境等については特に問題はない。地域とのかかわりではまだまだ事業所が知られていない。地域に出向いて本人の暮らしを支えることについては、地域の行事には参加している程度である。運営推進会議の活用は、地域の心配な方等への取組は今後の課題である。災害対策では、災害時の避難所にはなりえる。
事業所名	小規模多機能型居宅介護みくらの里	管理者	舘林 悦子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	4人	0人	1人	0人	0人	1人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所の自己評価会議に運営推進委員が1名参加する	平成28年度の事業所の自己評価会議に松下運営推進委員に参加していただきました。	平成29年度も引き続き、運営推進委員に参加していただくことで、事業所の取組みを理解していただく。	平成29年度も引き続き、運営推進委員の参加をお願いする。
B. 事業所のしつらえ・環境			事業所の案内板があったらどうか。	
C. 事業所と地域のかかわり	事業所が行う行事のPRを伊豆新聞、小林TV、SHKなどの媒体を活用する	健康プラザみくらの事業を伊豆新聞等に取材していただき記事にいただいた。小林TV、SHKでCMを流している。	小規模多機能が知られていない。サービスの良さをPRしてはどうか。見学、体験いつでもOKとか。	区の回覧で小規模多機能のチラシを配布する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み				
E. 運営推進会議を活かした取組み			運営推進委員に大賀茂区長もお願いしたらどうか。	今後の運営推進員委員会で検討していく。
F. 事業所の防災・災害対策			事業所独自で訓練していれば、地域との共同訓練をしなくてもかまわない。	福祉避難所としての機能を充実させる。